

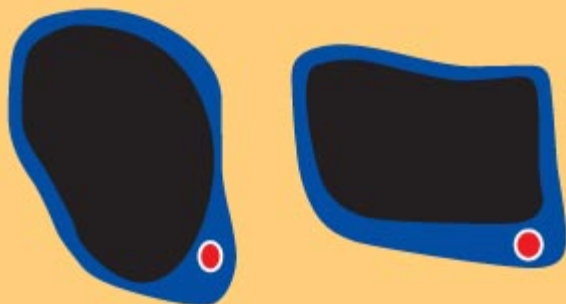
新しい大腿義足ソケットの考え方

Iceross トランスフェモラルの使用手順



ソケットの形状

～Icerossと相性が高いのは、四辺形？
坐骨収納型？



Icerossのトリミング

～良好な適合の重要なポイントです～



トリミングライン

Iceross トランスフェモラルの使用手順は下腿用 Iceross と原則は同じです。しかし、トランスフェモラルでは、断端形状により円筒形と円錐形の使い分けをする必要がありますので、採寸箇所などに違いがあります。

- ①断端末から4センチの近位の周径を採寸し、使用するサイズを決定します。(基本は採寸値と同一サイズ)。採寸は、断端軟部組織が全て垂れ下がるように、立位で股関節を伸展して行うようにします。
- ②断端長を区分します。
- ③断端会陰レベルの周径を採寸します。
- ④①～③までの断端長、遠位周径値、近位周径値を専用チャート表に照らし、円筒形、円錐形のいずれのIceross トランスフェモラルが適するのかを決定します。
- ⑤癒痕などでIceross と断端の間に空気が残る場合は、Iceross パッドや自作パッドを用い、ライナーと断端の間に空気が残らないようにします。

ソケット形状（プリムの形状）との相性はIceross トランスフェモラルについてありませんが、いくつかの条件があります。

- ①最大の条件は、ポリウレタンとの一致です。断端+Iceross=ソケット内容積が条件です。
- ②立脚と遊脚を通した適合のために、採型時のエロンゲーションが不可欠になります。
- ③回旋に対処するため、従来通りの骨性や筋形状による回旋防止の併用も重要です。

Icerossは、適切にトリミングして用います。以下はIceross トランスフェモラルのトリミング手順です。

- ①採型時には一度はさみを使ってラフにトリミングしておきます。
- ②外ソケット完成後、外ソケットトリミングラインの下で波型に切り落とします。波型に切る理由は、ライナー及び会陰部へのストレスの軽減です。ライナーを折り返す方法もありますが、空気が入り易くライナーも破損し易いためあまりお勧めしません。内側のトリミングについては、適合を見ながら慎重に切り下げていくようにします。
- ③処理する前に、トリミングライン付近の外側カバーに予めシリコーン接着剤を塗布します。目的はトリミング後のカバーの剥離やデンセンの防止です。トリミング後にもシリコーン接着剤を塗布しておきます。
- ④トリミングには、必ずシリコーン切断用の治具を用います。はさみ（ピンキング含む）やカッターでのトリミングは皮膚のトラブルを引き起こす恐れがあります。

以上2003年4月